

エクスカージョン Pulau Ubin Adventure コースに参加して

篠原 淳 司

今回、ありがたいことにAPAAジャーナルに記事を書かせていただく機会をいただきました。関係者の皆様ありがとうございます。せっかくの機会ですので、私が参加したエクスカージョンコースの紹介と、参加した感想を記載したいと思います。

APAAと私

その前にちょっとだけ、APAAと私の関係について紹介させてください。実は私、APAA日本部会事務局に入会届けを提出したのが2023年6月という新参者です。以前から、国際会議への参加にちょっとした憧れのようなものもあり、いつかはAPAAに入会したいと思っていた私ですが、なかなか実行には至っていませんでした。

そんな私ですが、「このままではいけない。コロナ禍も終わったし、行動しよう。」とAPAAに入会させていただいたんです。

自身で経営する特許事務所のお客様の中に、海外での権利取得を希望されるお客様が増えてきたというのもAPAA入会の理由の一つです。日本以外の国の弁理士の方たちとも交流をはかりたいと考えたんです。

そんな私ですから、APAA理事会に参加するといっても色々わからないことだらけです。

特にエクスカージョンについては、「大会の4

日目に「エクスカージョン」なるものがあるよ。遠足みたいなもので、皆さんそれに参加するんだよ。」、なんて先輩弁理士が教えてくれるのですが、なかなかイメージするのが難しい状態でした笑

参加を決めたPulau Ubin Adventure

そんな状況ではありましたが、とにかく、なにかしらのコースを申し込んでみようということ、で、「Pulau Ubin Adventure」コースに申し込みをしてみました。申し込みをした当時は、日々の業務がとても忙しいタイミングと重なり、各コースの説明を読みこむ時間を確保するのすら難しい状況でしたので、詳しいことはよくわからないまま申し込みをしたのを覚えています。何やらシンガポールの市街地から少し離れた島に移動して、そこでサイクリングを楽しむらしいということくらいしか理解していなかったと思います。

当日のPulau Ubin Adventureの様子

さて、そんなこんなで実際に参加してみたエクスカージョン「Pulau Ubin Adventure」ですが、とても楽しかったです。

朝、集合場所に集合して、バスで移動開始。全部でバス1台分くらい（50人くらい？）の人が「Pulau Ubin Adventure」に参加していました。一時間くらいバス移動したら、Bumboatという小さなボートに乗り換えてPulau Ubin島に移動しました。写真は、そのBumboat（ボート）の乗り換

えのための船着き場(?)です。



一台一台のボートはとても小さく、運転手・ガイドさん含めて10人くらいが乗り込んだのですが、今回のエクスカージョン、このBumboatでの体験もなかなかスリリングでした。



20分くらいBumboatで移動したら、いよいよPulau Ubin島に到着。レンタルサイクルをレンタルしました。勝手な想像で、格好良い整備の行き届いたマウンテンバイクを想像していたのですが、実際は写真のようなシティサイクルあり、マウンテンバイクありといった様相でした。

写真は出発前の様子です。みなさん、自分の好みの自転車をレンタルして出発を待っているところです。



僕は、マウンテンバイクをお借りしてサイクリングを楽しみました。でもこのマウンテンバイク、あまり整備されておらず変速機が動かないしろものでした。Pulau Ubin島はそれなりにアップダウンがあるコースだったのですが、固定ギアのまま楽しみました笑



コースの途中では、さすが南国!という景色を楽しめました。日差しもそれなりに強いのですが、日焼けでやけどをしてしまうほどというわけでもなく、快適でした。



サイクリングを終えたら、ランチタイムです。名前はよくわからないけど、とても美味しい海鮮料理と、よく冷えたココナッツジュースが最高でした。



このココナッツジュース、蓋の裏(?)のところを観察して、若くて新鮮そうなものを選ぶと良いそうです。隣の席に座ったタイ人の方が教えてくれました。

そんなこんなで、思いのほか楽しかったエクスカージョン「Pulau Ubin Adventure」。自転車を楽しむというイベントなので、他の参加者とたくさん話しかけるわけではないという点だけが少しばかり残念ではありましたが、全体としてはとても楽しい一日となりました。おかげさまで素晴らしい思い出になりました。次回の理事会でもエクスカージョン参加が楽しみです。